

交通モラルの向上を

泣き寝入りは損

交通事故は年々増加の傾向にあって、これは史上最高の数字となるようです。

ところでこの交通事故は、飲酒運転など交通三悪によるものが多く、また、事故後の処置、賠償、示談など社会的な問題として、大きく取りあげられています。

これらの事故は、交通モラルの低下により発生したものが多く、事故防止対策以前のものだといえそうです。交通事故による賠償問題は、感情の食い違いから、とかく紛争になり勝ちなものです。

そこでこれらのことをテーマとして、話し合いをしてみました。

▼事故の発生したときの処置も大事だが、示談後に問題となることの多い損害賠償などは最も重要なものといえる。

いままで警察は、民事不介入の原則に立って深入りしなかつたが、被害者が不具廃疾同様の生活をおくっている現状から、ある程度相談を受けることになった。

▼昨年一月から六月までの事故が千六百件、一年間の死者が百六人、ことしは八月一日現在の死者が九十六人、あと十人で昨年と同じとなり、レコード破りの記録となるだろう。

自慢では無いが、事故件数は四国のトップで、全国的にも多い県となっている。

▼事故の発生源は、交通三悪（スピード、酒、わき見運転）

その賠償

▼賠償の発生源は、交通三悪（スピード、酒、わき見運転）



踏み切り
に注意

市内には国鉄土讃本線と土電安芸線の踏み切りが各所にあつて、横断のさい危険にさらされます。

とくに土讃線の長岡地域では事故が相次ぎ起こつており、いたましい結果が出ています。横断のさいは、安全をじゅうぶんに確かめることにしましょう。写真はさる二月のある朝の事故で、列車にハネられた普通乗用車はベシヤンコ、一人が死亡し、一人が重傷をおいました。

▼賠償の発生源は、交通三悪（スピード、酒、わき見運転）

出席者

中野川小加尾立	川崎田瀬江	尾崎立	廣田	尾崎立	廣田
裕	裕	裕	裕	裕	裕
裕	裕	裕	裕	裕	裕
裕	裕	裕	裕	裕	裕
裕	裕	裕	裕	裕	裕

▼賠償の発生源は、交通三悪（スピード、酒、わき見運転）

交通事故と

くという一面、事後の病状に見通しのつかない場合もあり、事故の性質によって相当運つてくつて、その時期は判断してゆくべきだ。

▼原動付きモーターも八月一日から自賠保加入任意加入できるが十月一日からは強制加入になる。保険金は七万円で、両眼失明のときには、死亡と同じく百五十万円が支給される。

被害者の相談

▼また、病院で手術後に死亡したときは、手術費などに五十万円、死亡により百五十万円が支払われることになっている。会社の窓口へ毎日十人余りの相談があつている。

▼ところで被害者の相談が多く、またよく聞かれている。しかし、

バイクも強制保険へ加入

十月一日から実施

自動車損害賠償法の改正によって、原動機付自転車も普通自動車なみに扱われ、十月一日から強制実施となります。

したがって、すべてのバイクも、保険をつけなければなりません。この強制保険の保険料（掛金）は、一年間に二万五千円までを強制保険で支払うことになります。

この強制保険の保険料（掛金）は、一年間に二万五千円までを強制保険で支払うことになります。

自動車損害賠償法の改正
にともなつて、七月一日から自動車損害賠償保険金の支払い限度額も引き上げられました

治療のさい	死亡に至つた場合
一五〇万円まで	一五〇万円まで
（ケガで治療の場合）	二〇〇万円まで
五〇万円まで	（後遺障害による損害）
七万円～一五〇万円	

所有者にできた

連帯責任制度

▼ある業者では半殺しにするなどということがあるというが、最近では責任者について雇用者も賠償の責任があるようになった。

自賠保による賠償金だけで足りず、自分の股は痛まないというものもあり、交通の安全は地を揺らしている。

▼賠償の発生源は、交通三悪（スピード、酒、わき見運転）

▼賠償の発生源は、交通三悪（スピード、酒、わき見運転）